

一年の締めくくりの時期

学校長 須藤由紀夫

いよいよ一年の締めくくりの時期を迎えました。三月十二日には、七十一名の三年生に卒業証書が手渡されます。

三年生は、本校の最高学年として、勉強に運動に励み、学校行事や委員会活動など、下級生の手本としてリーダーシップを発揮してくれました。

今年度入学した一年生も学校生活に慣れ、自信にあふれる言動が数多く見られ、豊かな個性を発揮しています。二年生も、学習活動の記録や学校行事の写真等を見てみると、頑張っ取り組んだ様子が鮮やかによみがえり、一人一人の確かな成長を実感しています。

生徒たちは、地域の自然、文化、そして人の愛情で育ちます。けんかをして仲直りすること、人との関わり方を学びます。思い通りにならないことがあって、我慢する心が育ちます。こういった育ちの根底になくてはならないものが、御家庭の愛情による安定感、安心感です。三月の卒業や進級を前に、生徒たち自身ができるようになったことを振り返り努力や成長を確かめたり、「家族の絆」等を感謝したりする機会になればと願っています。

卒業
みめどとう



部活動での思い出

全中ホッケー大会に参加して

3年2組 手塚隼斗

全中予選は、埼玉選抜チームが相手だった。順調に得点し勝つことができ、全中への切符を手にすることができた。全中大会開催地は、北海道釧路、大変寒いところだった。1回戦では仲間が一つになり勝利することができた。2回戦は予選でも対戦した埼玉選抜チームだ。予選では勝利したが油断はできない。1ピリでは全体的に動きが今一つで、3失点してしまった。しかし、2ピリに1点を返し、3ピリに死にもの狂いで3点を返し、同点に追いついた。延長戦、誰もが勝利を信じていたが、1点を先に決めたのは相手チームであった。ゲーム終了のホイッスル「あ、終わった」この瞬間は言葉にならないポカーンとした感じだった。今まで3年間、この全中を制覇することを目指し猛烈に積み重ねてきたことが、この瞬間に終わったと感じた。仲間がベンチから出てきて整列し、最初は涙をこらえていたが、だんだんいろいろな気持ちが込み上げてきて涙があふれてきた。結果は負けてしまったが、最後まで勝利を信じ、辛くても努力することの大切さや、諦めない気持ちの大切さ、仲間とチームワークを築くことの大切さを学ぶことができた。最後に、この3年間を通して、指導してくださったコーチ、先生方、毎日僕を応援してくれた父と母へ感謝するとともに、これからもこの気持ちを忘れず、アイスホッケーに取り組んでいきたいと思う。



3年間の部活動を通して学んだこと

3年1組 安達帆南

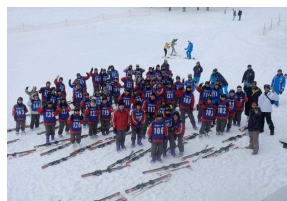
3年間の部活動を振り返ってみれば、順調なことばかりではなかったが、楽しかった思い出も多い。私はバスケットボール部に所属し、副部長だった。副部長の仕事は部長がいないうちに部をまとめたり、部の活動が楽しくなるように下級生と3年生との間にはいって、ムードメーカー的なことも行った。思い起こせば、2年生の時の新人戦決勝トーナメント1回戦、新チームになり何とか頑張ろうとみんな思っていたときに、1点差で強かった大沢中に勝てたことが印象に残っている。最初は大沢中がリードしていたが、後半に同点に持ち込み、勝ち切ることができた。ワンマンプレイがなく、チームワークでボールをまわし、シュートにまで持って行けたのが勝因だった。この試合から仲間と一つになる素晴らしさを学ぶことができた。その後は、決勝トーナメントで負けてしまい、ずっと3位という結果だったが、気持ちは充実していた。最後の試合では、3年生全員が2得点以上を挙げ、満足して終わることができた。この3年間を通して充実した部活動ができたことを、顧問の先生をはじめ、チームメイトのみんな、先輩方、家族に感謝したい。



立志によせて

2年2組 白井 空

僕は、立志式で「努力」という字を色紙に書きました。今の自分を振り返ってみて最も足りないと思うからです。生活面でも学習面でもまだまだです。そのために友達や親にも心配や、迷惑をかけてしまいました。今はこんな自分ですが、これから頑張ってみんなからの信頼を取り戻したいと思っています。そしてみんなに信頼され、困っている時や、悩んでいるときに頼られるようになりたいです。さらに、大人になっても、努力していろいろな人から信頼され、頼られるようになりたいです。



スキー教室の思い出

2年2組 柿沼 陸人

僕はスキー教室で、初めてスキーを体験しました。小学校のスケート教室では、転びまくってお尻が痛かったので、スキー教室も恐怖でした。しかし、ある先生に「カレーがすごくまいぞ」と誘われ、その気になり行ってみました。しかし、食べてみたら普通のカレーでした。僕は完全に騙されたと思いました。でも、実際のスキーでは、初めてリフトに乗って、上から下まで何とか滑ることができました。いろいろありましたが、スキーを「好き」になることができました。

新部長の抱負

吹奏楽部長 2年1組 安野 花奈

現在吹奏楽部は、少人数で活動しています。昨年のコンクールは、残念な結果となりましたが、その悔しさをばねに練習を頑張ってきました。今年度は、少人数を言い訳にたくはありません。まだまだ一人一人の実力、部員同士の結束が足りないと思います。きっと改善していけば、皆が納得する演奏に近づけると思います。自分たちの個性を出しつつ、りっぱな部活を築けるように部長として頑張ります。

スケート教室の思い出

1年2組 伊谷 真凜

私たち1年生は、2月1日にスケート教室で、霧降スケートリンクに行きました。天気は晴れていましたが少し雪が舞っていました。寒かったですが、滑ると暑くなり、上着を脱ぎました。5周以上は回ったと思います。小学校でもスケート教室に行きましたが、中学校のスケート教室のほうが楽しかったです。中学校では、仲のいい友達と自由に滑れたからです。みんなで滑ったり、しゃべったりとても充実した楽しい一日でした。



3年生を送る会を終えて

生徒会長 2年2組 地神 かほ

私は生徒会役員として、3年生を送る会の準備と進行を行いました。式の中では映画を楽しみ、そして、1、2年生から感謝の気持ちを込めたメッセージを送りました。会を通して、3年生との行事や部活動での出来事が思い出され、感慨深い時間を過ごすことができました。また、3年生にこれまでの感謝の気持ちが伝わっていれば、うれしいです。

健康の保持増進について

養護教諭 平塚 晃弥

早いもので今年度もわずかとなってしまいました。今年度の健康診断結果で、専門医受診が必要ですが、まだ未受診の人が多くいるのが気がかりです。

昨年、学校歯科医の宮川先生からむし歯を放っておくと命にかかわることもあるので、むし歯が見つかったらすぐ受診する習慣をつけることが大切とお話がありました。

学校での健康診断は、学校生活を送るに当たり支障があるかどうかについて疫病をスクリーニングし、健康状態を把握するために行っています。子どもたちには自分の健康状態を知り、日常生活のなかで現在だけでなく将来の健康保持増進に役立ててほしいと思っています。

将来に向けて病気が見つかったら専門医に診てもらい、治療が必要であれば治療するという実践力をつけていくことができるようにご家庭でもご協力くださいますようよろしくお願いいたします。

◇JRC目標 「気づき 考え 実行する」

◇うちの子・よその子・栃木の子

みんなで育てて明るい未来～栃木の子どもをみんなで育てよう運動～